社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

函館駅前・大門地区の活性化

北海道函館市

令和7年1月

社会资本敕儒级会方社会 △和09年01日99日

任会員	食 本総合登1	用計画 任云貫本登》	胂総合父刊金						令和02年01月23日
計画の名称	⋾ 函館駅前・大	:門地区の活性化							
計画の期間	令和02年	度 ~ 令和06年度 (5年間)						重点配分対象	象の該当
交付対象	函館市								
計画の目標	(当市の中心市	街地の核となる函館駅前・大門地区	で、市街地環境の更新と商業活体	性化に資する複合施設の整備	iにより,魅力ある中心市街均	也の再生を図る。			
全体事業	費(百万円)	合計 (A+B+C+D)	119 A	119 B	0 C	0 D	0 効果促進事	業費の割合C/(A+B+C-	+D) 0 %
				計	画の成果目標(定量的指標)				
75.0								定量的指標の現況値及び目標	植
番号			定量的指標の定	至義及び算定式			当初現況値	中間目標値	最終目標値
							R1		R12
1 中	心市街地におけ	る函館駅前通り(旧棒二森屋前)の)歩行者数を1,716人/日(R1)か	ルら2,600人/日 (R12) に増た	hp				
駅	前通りにおける	歩行者通行者数を計測する。					1716人/日	人/目	2600人/日
2,	829人 (H30) +	(2,829人×-8.1%)							
									1
							Т		T
							<u> </u>		T
								T	
1							.1		1
		備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む -	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -
計画の期間	:令和2年度~	令和11年度(10年間)							

. ++++4 -+- 100																			
A 基幹事業	1	I ,	1	1	T	1	1	1	T	Town to the	T	1 ,				. 1			
		事業	地域	交付	直接	市 翌 尹	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/				(年度		全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		1=771	1=77	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02	R03	R04	R05 I	R06	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	り期待	される効果													
		備考				_	_		_										
住環境整備事業	A16-001	住宅	北海	函館市	間接	組合	-	-	函館駅前東地区第一種市	公共公益施設, 商業施設, 自	E 函館市						119	1. 24	未策定
			道						街地再開発事業	宅, ホテル等 約1.0ha									
				ı			1				L			1					
							Τ				小計					Т	119		
											1,11						119		
						_	,		1										
											合計						119		
							1						<u> </u>						
				1			T												
					_							_							
			•		•	•	•					•							
							T												
				I		T	1	ı	T				ı		-	-	Г		

事前評価チェックシート

計画の名称: 函館駅前・大門地区の活性化

事 前 評 価	チェック横
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	0
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2)上位計画等と整合性が確保されている。	0
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1)地域の課題を踏まえて,まちづくりの目標が設定されている。	0
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3)目標および事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	0
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1)十分な事業効果が確認されている。	0
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	0
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	0
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	0
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	0
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	0
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	0

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	0
	L
	L
	L
	L

计合容未纷合数供针面 **社会资本数准级会六付会** △和7年4月22日

社会貝	平総 古 発 化	甲計画	社会員	具 4 2 2 1 用 8	古父门立												今和07年01	月23日
計画の名称	函館駅前・大	門地区の活情	生化															
計画の期間	令和 0 7年	芰 ~ ⁴	令和11年度	(5年間)											重点配分対	対象の該当		
交付対象	函館市																	
計画の目標	当市の中心市	封地の核と7	なる函館駅前・	・大門地区で	市街地環境の	更新と商業活	舌性化に資する	複合施設0	D整備により,	魅力ある中	心市街地の再	生を図る。						
全体事業費	(百万円)	合計(A	4 + B + C + D)	6,897	А	6,897	′ В		0 C		0 D	0	効果促進事業費の割合C	/ (A + B + C	+ D)	0	%

計画の成果目標(定量的指標)									
番号		淀	産量的指標の現況値及び目標						
田与	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
		R1		R12					
1	中心市街地における函館駅前通り(旧棒二森屋前)の歩行者数を1,716人/日(R1)から2,600人/日(R12)に増加								
	駅前通りにおける歩行者通行者数を計測する。	1716人/日	人/日	2600人/日					
	2,829人(H30)+(2,829人×-8.1%)								

備考等	個別施設計画を含む	- [国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む	-

計画の期間:令和2年度~令和11年度(10年間)

A 基幹事業	\neg	事業	地域	六什	一古拉		Т		要素となる事業名	車器	 内容	市区町村名 /	事 类	中佐田	間(年月	+ \	全体事業費	弗田	- D-125-20-1
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接		種別 1	種別 2	安系となる事業名		:内谷 面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名					(百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
奉 轩争耒(八 /	省5								(争業国別)	(進技・	 国惧寺 /		KU/ r	מאן אט	9 110	KTI	(日かロ)	(伊金儿	東正仏/元
		備考	- 夫肥りで	و د د ادم	- リ 期1寸(される効果													
一			北海	元-4守士	188+立	T _{//0}	T		- Z.校町並市地区第一種士	ハサム芸統和	女₩₩≒1		 				6 007	1 01	+#=
住環境整備事業	A16-001	注七 		函館市	間接	組合	-	-	函館駅前東地区第一種市	公共公益施設、		:					6,897	1.24	未策定
			道						街地再開発事業	宅、ホテル等	約1.0ha								
ı												小計					6,897		
I			•				•	•					•		•	•			
l																			
					T	T						合計					6,897		
I				1		1			I.			1							
ı																			
I				<u> </u>	\top	T						T							
I																			
I																			
I	-			T	$\overline{}$	Τ	T		T			Τ	Т				1		
I																			
I																			
1			ı	1			1	ı	T	T		1	1 1			· ·			
1					\perp														
1																			
I																			
1																			
I				•	-	1	•			1							•		.1
I																			
1					\top	T													T
I				1															
1																			

事前評価チェックシート

計画の名称: 函館駅前・大門地区の活性化

事 前 評 価	チェック欄
Ⅰ. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
 I. 目標の妥当性	
都市再生基本方針との適合等 2)上位計画等と整合性が確保されている。 	0
Ⅰ. 目標の妥当性地域の課題への対応 1)地域の課題を踏まえて,まちづくりの目標が設定されている。	0
Ⅰ. 目標の妥当性地域の課題への対応 2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	
 II . 計画の効果・効率性	
目標と事業内容の整合性等 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3)目標および事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	0
計画の効果・効率性 事業の効果 1)十分な事業効果が確認されている。	0
事業の効果 2 が事業建議寺による相業効果 が放及効果が持ちれるものとなりでする。 	0
地元の熱意 1)まちづくりに向けた機運がある。 	0
.計画の実現可能性 地元の熱意 2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 	0
III.計画の実現可能性 地元の熱意 3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
III.計画の実現可能性	
円滑な事業執行の環境 2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	0

事前評価	チェック欄
Ⅲ、計画の実現可能性	
TII.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	0

